

8-4-41 品質向上専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動の目的

品質の確保・向上について、管理技術面からアプローチしたエラー防止策や業務成果の品質向上策を提案することを目的とした。専門技術面のエラー防止については、技術部会の各専門委員会資料を活用することで、より効果的な活動となることを目指している。

(2) 委員会の開催

- ・専門委員会の開催：11回

(3) 品質セミナーへの参加

- ・開催時期：令和4年10月21日～30日
- ・開催地：オンライン形式（ビデオ配信）
- ・主催：技術部会/品質委員会
- ・参加者：全体で1,620名（内72名は発注者）
当委員会のプログラムは、第2講「国土交通省品質確保対策への対応」、第3講「多様な働き方における品質確保」とし、30分及び50分の講演を行った。

(4) セミナーの評価（アンケート結果より）

セミナー参加者へのアンケートでは、発表内容は「非常に役に立つ」と「役に立つ」の合計が99%（昨年度98%）、講師の説明は「非常に分かり易い」と「分かり易い」の合計が98%（昨年度98%）と、昨年同様高い評価となっている。この評価は、ヒアリングで得た具体の事例に重点を置いた内容と、事前の準備に時間を割いた結果と考える。

自由意見では、下記のa)、b)や実務に直結する身近な事例がわかり易いという意見が多くあった一方、国土交通省以外の自治体等の調査結果を望む意見や、より具体的な内容を望む意見もあった。

- a) 国土交通省における品質確保対策の7項目について、それぞれアンケート結果を具体的に報告されており、非常に理解がしやすかった。各対策が有効であることがわかり、今後の改善や継続した取組の必要性を再認識した。

- b) 各社とも、働き方改革、設計業務用のツールの変化によりいろいろな工夫があり、大変参考になった。特に、品質の確保に最も重要な照査についての工夫が参考になった。

(5) 品質向上施策の改善提案

業務スケジュール管理表や条件明示チェックシートなどの国土交通省と建コン協で実施している品質確保策に対して、施策の効果などに関するアンケートを実施した。調査結果は、整理・分析し、今後の改善点などを国土交通省との要望と提案に活用すると共に、調査結果を令和4年度の品質セミナーで会員企業へ紹介した。

(6) 品質向上推進ガイドラインの改定作業

令和3年7月発行の品質向上推進ガイドライン活用ツールについて、「リスクと対応の確認ツール」の内容を一部改訂すると共に、「照査ツール」は令和3年に収集した新たなエラー事例を追加し、品質向上推進ガイドライン（改訂版）として令和4年11月に協会HPにて公表した。

2. 次年度の活動

令和5年度は、会員企業の表彰受賞業務を対象に、働き方が変化する中での優良業務の事例調査をテーマとして、会員企業における発注者評価を得るための取組みや、品質管理活動及び若手技術者の育成を中心に、アンケートとヒアリング調査を行い、品質向上との関連性を分析のうえ、とりまとめて令和5年度品質セミナー（10月開催）での発表を予定している。

また、次年度も会員企業の取組みについて継続的な調査を予定しており、さらに品質向上推進ガイドライン（改訂版）の普及や品質向上に関する講習会の実施を検討する。

（品質向上専門委員会委員長 青木 毅）